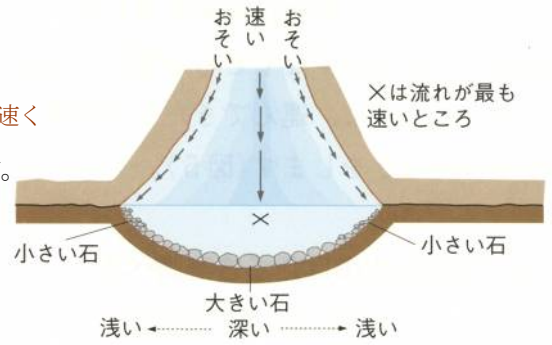


川の形と流れの遠さ

①まっすぐ流れているところ

川の流れは、岸に近いほど(1…速くかおそくで)、中央付近ほど(2…速くかおそくで)になります。最も速いのは水面の少し下の部分(X)です。川岸や川底が水の流れをさまたげるためです。

これらのことから、川の深さは中央付近が最も(3…深くか浅くで)なり、川底の石の大きさは、中央付近の方が(4…大きくか小さくで)なっていることが分かります。小さい石は流れの速い水が下流まで運んでいくためです。

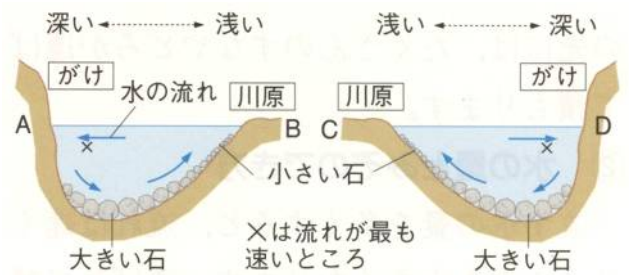
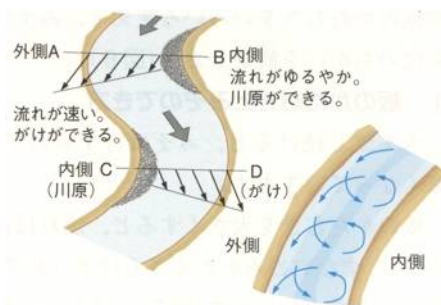


②曲がって流れているところ

曲がって流れているところの流れは、外側の方が内側よりも速くなっています。

さらに、水面近くでは流れが外側に向かい、

川底近くでは内側へ向かうように流れるため、全体としてうずをまくようにして流れています。そのため、外側は岩がけずられてがけになり、川底には深くて大きな石がころがっています。一方、流れのおそい内側には、小石やすなが積もって(5)ができています。

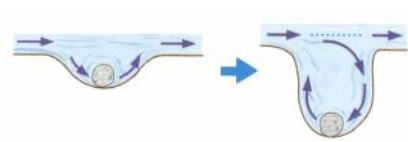


③だ行(蛇行)



曲がりくねって流れているところを、蛇の動きにたとえて川の(6)といいます。山の間をぬうような流れになる上流でこうした流れが多く見られます。そして、流れは曲がったところの(7…内か外で)側をけずり、(8…内か外で)側に土砂を積もらせていくため、流れはしだいに大きくなっていきます。平野部のこうした流れは、流れが少し速い中流で多く見られます。

川の上流・中流・下流のようす

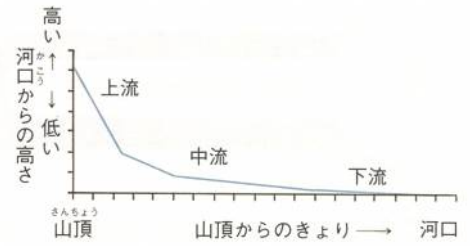


川の上流の平らで大きな岩に、穴があり、その中には石が入っていました。流れの速い川の川底が岩できているところに、くぼみがあった場合、そのくぼみに石が入りこみ、流れのいきおいで入った石が回転します。

すると、くぼみはその石によってけずられて、しだいに深い穴となっていくのです。このようにしてできた地形を(9…別名をポットホール)といいます。

①川原の石

上流ほど流れが速くなるため、小さな土砂は運ばれてしまい、大きな石が残ります。さらに、運ばれていく途中で、たがいにぶつかったりして、しだいに小さくなり、丸みをおびていきます。これらのことから、川原の石は、上流ほど角ばっていて(10…大きくか小さくで)、下流ほど丸みをおびていて(11…大きいか小さいで)ことがわかります。



A



B



C



左は、(12…AかBかCで)が上流で、(13…AかBかCで)が中流、(14…AかBかCで)が下流のようすであることが分かります。

また、下図のように川原の石が流れの向きにかたむいてならんでいることから、(15…DかEで)が上流になっていることが分かります。

D



E

②水の量と川はば

川を流れる水の量は、上流ほど(16…少なくか多くで)、下流ほど(17…少なくか多くで)なります。また、川はばは上流ではせまく、下流では広がっています。

流れる水のはたらき

流れる水には下のように3つのはたらきがあります。

- ①(18…ひらがな可)作用…川岸や川底・がけなどをけずりとるはたらきのことです。
- ②(19…ひらがな可)作用…けずりとった土砂を、水の流れが運ぶはたらきのことです。
- ③(20…ひらがな可)作用…流れがおそくなり、運んできた土砂を川底や川原に積もらせるはたらきのことです。

これらのはたらきと川のようにとの関係をまとめると表のようになります。

表に語群のことばを入れなさい。

川のように	上流	中流	下流
川はば	(21)	----	(22)
流れる速さ	(23)	----	(24)
水の量	(25)	----	(26)
川岸の石のようす	(27)	(28)	(29)
川岸の石の形	(30)	----	(31)

語群

速い・おそい せまい・広い 少ない・多い
 砂や泥・岩・小石 角ばっている・丸い

(32)～(37)は大か小で答えなさい。

流れる水のはたらき	上流	中流	下流
侵食作用	(32)	----	(33)
運搬作用	(34)	----	(35)
堆積作用	(36)	----	(37)